

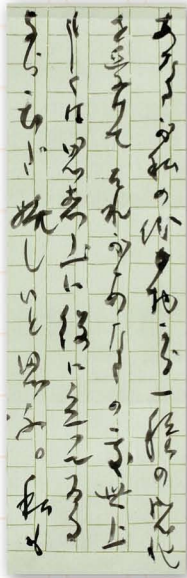
漱石からの手紙

— 友、門下生、読者への思い —

夏目漱石は多くの手紙を出していました。最新の漱石全集である岩波書店版『定本 漱石全集』の書簡編に掲載されているものは2,600通（この他、補遺として13通）に及んでいます。漱石は「人に手紙をかく事と人から手紙をもらふ事が大すぎ」と、門下生の森田草平にあてた手紙に書いており、同じ日に何通もの手紙を出していたこともわかります。

漱石から友人、門下生たちに宛てた手紙は、漱石の心情を伝えるものとしてこれまでも注目されてきました。一方で、手紙は個人間のやりとりであるため、現在の私たちにはその内容はもとより、その手紙が出された背景や思いの全てを理解することは難しいところですが、しかし、残されている多くの漱石の手紙やそれを受け取った側の資料を合わせて見ていくことで、個人間のやりとりだけにとどまらず、その手紙を書いた時の漱石が置かれていた状況や、漱石の思いをうかがい知ることができそうです。

漱石山房記念館では寄託資料も含め計36通の手紙を所蔵しています。今回の展示では手紙を出した漱石と手紙を受け取った相手との関係に注目しながら、手紙から読み取れる時代や世相もあわせて紹介していきます。



明治42(1909)年12月10日▲

夏目金之助 荒木秀一宛て書簡(部分) 寄託資料



▲明治34(1901)年1月3日

夏目金之助 立花鏡三郎宛て葉書(裏面)

関連イベント

オンラインギャラリートーク

YouTubeチャンネル「レガスちゃんねるby新宿未来創造財団」で担当学芸員による展示解説映像の配信を予定しています。詳しくは当館ウェブサイトをご確認ください。

当館主催の会期中イベント

令和4年1月4日(火)、5日(水)

新年来館者プレゼント

令和4年2月5日(土)、12日(土)

(要事前申込) **文学講座「若き漱石の漢詩—青春の光と影—」**

令和4年2月9日(水)

(要事前申込) **夏目漱石誕生記念 2月9日朗読会**

令和4年3月6日(日)、13日(日)

(要事前申込) **文学講座「夏目漱石「思ひ出す事など」を読む」**

令和4年3月12日(土)

(要事前申込) **夜間特別開館イベント「漱石と能—謡曲を通して漱石作品を巡る—」**

※要事前申込のイベントの詳細、申込方法は、当館ウェブサイト、「Oh!レガス 新宿ニュース」をご覧ください。



次回展示

令和4(2022)年 4月14日(木)~7月3日(日)

《通常展》テーマ展示 **新収蔵品(コレクション)展(仮題)**

新宿区立漱石山房記念館 (公益財団法人新宿未来創造財団)

〒162-0043 東京都新宿区早稲田南町7 TEL.03-3205-0209 FAX.03-3205-0211 <https://soseki-museum.jp/>

交通のご案内

〈電車〉
東京メトロ東西線「早稲田駅」1番出口より徒歩10分
都営地下鉄大江戸線「牛込柳町駅」東口より徒歩15分

〈バス〉
都営バス(白61)「牛込保健センター前」より徒歩2分
※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。